



第3期 鹿児島市

グリーン・ツーリズム 推進計画(概要版)

稼ぐ体験型ツーリズムの推進による農村地域の活性化



● 計画策定の趣旨

(1) 計画策定の目的

第2期計画が令和3年度（2021年度）で終了することから、これまでの進捗状況や新型コロナウイルス感染症拡大などの社会情勢の変化、持続可能な都市と農村の交流のために不可欠なSDGsの視点などを踏まえ、上位計画である「第六次鹿児島市総合計画」における基本施策「地域特性を生かした観光・交流の推進」を図るため、「第3期鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画」（以下「第3期計画」という。）を策定します。

(2) 計画の位置づけ

上位計画である「第六次鹿児島市総合計画」におけるグリーン・ツーリズム分野の個別計画とするとともに、「第4期鹿児島市観光未来戦略」、「第3期鹿児島市農林水産業振興プラン」など、本市関連計画との整合性を図ります。

(3) 計画期間

令和4年度から令和8年度まで（5年間）



(4) SDGsとの関連

SDGsの目指す17の目標のうち4つの目標が関連することから、SDGsの視点を取り入れた計画とします。



● グリーン・ツーリズムの現状と課題

(1) 第2期計画の進捗状況

第2期計画に基づく各種事業を着実に実施した結果、「農業体験などの延べ体験者数」が平成30年度に、「グリーン・ツーリズム登録団体等数」が令和2年度に、それぞれ目標を達成している一方、「グリーン・ツーリズム登録団体等における売上額」など3指標については、増加傾向にあるものの目標に達していない状況にあります。

目標指標の達成状況（第2期計画）

指標	目標策定時	実績値					目標値
	平成27年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(A)	進捗(A/B)	令和3年度(B)
指標1 農業体験などの延べ体験者数（人/年）	約 61,200	約 66,000	約 72,300	約 71,500	約 47,600	68%	70,000
指標2 グリーン・ツーリズム登録団体等数（団体）	42	42	44	46	49	102%	48
指標3 グリーン・ツーリズムホームページへのアクセス件数（件/年）	約 166,200	約 136,300	約 165,000	約 164,600	約 170,900	90%	190,000
指標4 グリーン・ツーリズム登録団体における売上額（千円/年）	約 480,000	約 483,758	約 485,437	約 463,706	約 360,298	66%	550,000
指標5 グリーンファームの利用者数（人/年）	約 193,000	約 182,100	約 190,600	約 192,500	約 154,200	70%	220,000

(2) 第2期計画の総括

目標値に達していない指標がある一方で、令和2年（2020年）1月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、観光業に多大な影響が生じている状況下において、グリーンファームのキャンプ場利用者が増加傾向にあるなど、屋外での体験等のニーズが高まっていると考えられます。

今後は、新型コロナウイルス感染症による生活スタイルや価値観の変化等を考慮しながら、各種施策を展開する必要があります。

(3) 社会環境の変化、動向

第2期計画策定以降、本市の入込観光客数は堅調に推移し、宿泊観光客数は平成30年（2018年）に410万人と過去最高を更新しました。一方、令和2年（2020年）新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光客の激減や都道府県を跨いだ移動の制限、外出自粛など、観光業は多大な影響を受けています。さらに、「新しい生活様式」に基づく三密回避の取組や、「テレワークの推進」、「オンラインショッピングの浸透」など、人々の生活スタイルや価値観は大きく変化しています。

また、感染防止・三密回避の観点から、少人数での旅行やキャンプなど屋外での自然を生かしたアクティビティ、県内・近隣地域内における「マイクロツーリズム」のニーズが高まっています。

(4) グリーン・ツーリズムのさらなる推進に向けた課題

- ①人口の減少、少子高齢化、後継者不足
- ②受入体制の弱さ
- ③地域の収益力の低さ
- ④地域資源の活用不足
- ⑤情報発信力の弱さ

第2章 計画の全体像

● 基本目標及び基本方針

第3期計画については、これまでと同様に農村地域の多様な資源を活用した体験など、多彩なグリーン・ツーリズムの取組により、都市部住民や周辺自治体住民との交流拡大を図ります。さらに、農村地域の特徴・強みを生かした収益力の高いプレミアムな体験型観光の推進により、稼ぐ「KAGOSHIMAグリーン・ツーリズム」を創出するとともに、多様な主体による持続的な体制づくりを推進し、農村地域の活性化を図ります。

また、グリーン・ツーリズムの推進による体験・交流の拡大を図る中で、農村地域の住民の「生きがい」、都市部住民等の「やすらぎ」、「いやし」の創出にもつなげていきます。

基本目標

稼ぐ体験型ツーリズムの推進による農村地域の活性化

上記基本目標を実現するために、第2期計画の内容を踏襲しながら、新たな3つの基本方針を設定します。なお、いずれの基本方針についても、ICTの活用や、周知等に向けた情報発信の強化が必要であり、横断的な取組としてICTの活用と戦略的な情報発信を設定します。



基本目標

稼ぐ体験型ツーリズムの推進による農村地域の活性化

基本方針1 稼ぐ「KAGOSHIMAグリーン・ツーリズム」の展開

豊かな自然・景観や貴重な文化遺産、特産農産物など、農村地域ならではの特徴・強みを生かした収益力の高い体験型観光「KAGOSHIMAグリーン・ツーリズム」を創出し、国内外の観光客が「行ってみたい」・「やってみたい」と思える特別感のあるグリーン・ツーリズムを展開します。また、人口減少による国内市場の縮小が懸念される中において、インバウンドを含めた観光客受入のための宿泊機能の強化や地域と日本国内及び海外とつながるウェブサイト等の活用促進を図り、国内外の観光客と観光消費額の増加を目指します。

基本方針2 マイクログリーン・ツーリズムの推進

国内旅行においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、県内、近隣地域内での観光、いわゆる「マイクロツーリズム」の機運が高まっていることから、これまでの取組に加え、農村地域の資源を活用した体験・交流メニューの充実や地域の拠点となるグリーン・ツーリズム施設の最大限の活用を図るなど、市民や周辺自治体住民が気軽に農村地域を訪れ楽しむことのできるグリーン・ツーリズムを推進し、さらなる交流拡大を目指します。

基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり

農村地域における都市部住民との交流促進を図るため、各農村地域を拠点としているグリーン・ツーリズム活動団体や地域内外の住民・団体等が相互に連携し、個々の活動拠点と合わせ、各地域で一体となった取組をマネジメントする組織の構築やグリーン・ツーリズムを担う人材の発掘・育成、農村地域内外の若者等の参画促進により、多様な主体による持続可能な農村地域の活性化を目指します。

横断的な取組

ICTの活用と戦略的な情報発信

基本施策

主な取組例

- ① 宿泊機能の強化
 - ・ 農家民泊、農家民宿の受入体制の充実
 - ・ 空き家等を活用した宿泊施設の整備促進
- ② 体験メニュー等の高付加価値化・差別化
 - ・ 収益力の高い鹿児島ならではの稼げる体験コンテンツの開発 (桜島・錦江湾の魅力を生かしたブルーツーリズムやジオツーリズムとの連携など)
 - ・ 宿泊・滞在時間の増につながるナイトタイムイベントや早朝体験メニューの創出
- ③ インバウンドへの対応
 - ・ Wi-Fi やキャッシュレス導入、インバウンド研修など受入環境の強化
 - ・ 地元留学生との連携による魅力づくりの創出 (モニターツアーの実施等による新たな体験メニューの創出など)
 - ・ ホームページやパンフレット等の多言語対応への支援
- ④ ウェブサイト等を用いた稼ぐ仕組みづくりの促進
 - ・ ECサイトや予約システム等の活用促進
 - ・ ウェブサイト等による情報発信の強化

基本施策

主な取組例

- ① 気軽に楽しめる体験メニューの充実
 - ・ 農村地域の特色を生かした多彩なグリーン・ツーリズム体験メニューの充実
 - ・ 農業、自然、調理体験など各種体験・交流メニューの充実
- ② グリーンファームをはじめとしたグリーン・ツーリズム施設の効果的な活用と磨き上げ
 - ・ グリーンファームの利用促進に向けた体験・交流メニューの磨き上げや新たな賑わい・憩いの場の創出
 - ・ 販売する農産物等の質・量の確保やサービス面の充実、交流イベントの開催や地域情報の発信
- ③ 周辺自治体や市内、県内の学校等との連携強化
 - ・ 新たな魅力の創出に向けた連携中枢都市圏のネットワーク活用
 - ・ 南薩地域と連携したグリーンファームの活用促進
 - ・ 市内・県内の学校等の教育活動、修学旅行の受入強化
 - ・ 本市連携協定大学との連携

基本施策

主な取組例

- ① 各地域における運営マネジメント組織・ネットワークの強化
 - ・ 中心的人材の発掘・育成
 - ・ 運営マネジメント組織の構築・支援
 - ・ 農村地域内外の団体等とのネットワーク強化
- ② 活動組織等の支援及びグリーン・ツーリズムを担う人材の育成
 - ・ 登録団体等や農家民泊受入組織等への支援
 - ・ グリーン・ツーリズムを担う人材の発掘・育成
- ③ 若手人材をはじめとする多様な人材の参画促進
 - ・ 中学生・高校生・大学生など若手人材の参画促進
 - ・ シニア世代の経験・知見の活用促進

横断的な取組 ICTの活用と戦略的な情報発信

- | | | |
|-----|---|---|
| 取組例 | 環境整備 | 情報収集 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ Wi-Fi 環境整備やキャッシュレス決済導入の推進 ・ 多言語表記への対応 ・ ウェブサイトを用いた予約システムの確立 ・ ウェブサイトやSNSを用いた地域ネットワーク形成支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ データを活用したマーケティング |
| | 情報発信 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェブサイトやSNSを用いた効果的な情報発信 ・ ECサイト運営支援 | |

地域別計画 (8地域)



● 目標指標

施策の取組の指標として、次の5つの目標指標を設定します。目標年度は計画の最終年度である令和8年度（2026年度）とします。

※新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年度の観光客数が激減したため、目標指標1、2、5においては「令和5年度（2023年度）に令和元年度（2019年度）の水準に回復する」という想定で数値を設定しています。

目標指標

1

グリーン・ツーリズム登録団体等における売上額

令和元年度実績	令和2年度実績	令和8年度目標
約463,706千円	約360,298千円	510,000千円

注) 対象は、グリーン・ツーリズム登録団体等のうち「農産物直売所（市施設のみ）」、「観光農園」、「農家民宿」、「農家レストラン」とする。

目標指標

2

活動組織等^{注1}及び グリーンファームにおける農業体験等の延べ体験者数

令和元年度実績	令和2年度実績	令和8年度目標
約71,500人/年	約47,600人/年	79,000人/年

注1) グリーン・ツーリズム登録団体等及び農家民泊の受入組織

目標指標

3

農家民泊、農家民宿の受入家庭数

	令和元年度実績	令和2年度実績	令和8年度目標
農家民泊	73軒	63軒	73軒
農家民宿	17軒	17軒	22軒

目標指標

4

SNS^{注2}フォロワー数

令和元年度実績	令和3年度 ^(注3) 実績	令和8年度目標
—	約2,400人	4,800人

注2) 対象は、鹿児島市世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課公式 Facebook、Instagram 及びグリーンファーム公式 Facebook、Twitter、Instagram とする。

注3) 令和2年度は未集計のため令和3年9月末時点

目標指標

5

グリーンファームの利用者数

令和元年度実績	令和2年度実績	令和8年度目標
約192,500人/年	約154,200人/年	210,000人/年

第4章 地域別計画

1 谷山地域

- ・農業体験、自然体験、漁業体験や観光農園での収穫体験など、体験・交流メニューの充実や新たなメニューづくりに向けた取組の促進
- ・農家民泊受入体制の充実や農家民宿の開業に向けた取組の支援等、宿泊機能の強化 等

2 伊敷地域

- ・農業体験、自然体験や観光農園での収穫体験など、体験・交流メニューの充実や新たなメニューづくりに向けた取組の促進
- ・農家民泊受入体制の充実や農家民宿の開業に向けた取組の支援等、宿泊機能の強化 等

3 吉野地域

- ・吉野地域の資源を生かした農業体験、自然体験、調理体験など、体験・交流メニューの充実や新たなメニューづくりに向けた取組の促進
- ・世界文化遺産を活用した体験・交流メニューの魅力向上や誘客の促進 等

4 吉田地域

- ・豊かな地域資源を生かした農業・自然体験など、体験・交流メニューの充実や新たなメニューづくりに向けた取組の促進
- ・輝楽里よしだ館の交流拠点としての有効活用及び魅力向上 等

5 桜島地域

- ・桜島の自然環境を生かした体験、観光農園での収穫体験、調理体験、沿岸部での漁業体験など、体験・交流メニューの充実や錦江湾を生かしたブルーツーリズムなど新たなメニューづくりに向けた取組の促進
- ・ジオツーリズム等と連携した体験・交流メニューの魅力向上や誘客の促進 等

6 喜入地域

- ・グリーンファームのさらなる魅力向上及び利用促進
- ・喜入旧麓地区など、豊かな地域資源を生かした体験・交流メニューの充実や沿岸部での漁業体験など新たなメニューづくりに向けた取組の促進
- ・鹿児島ユナイテッドFCと連携した体験・交流メニューの推進 等

7 松元地域

- ・特産の茶を使った体験、自然体験、調理体験など、体験・交流メニューの充実や新たなメニューづくりに向けた取組の促進
- ・お茶の里の交流拠点としての有効活用及び魅力向上
- ・農家民泊受入体制の充実や農家民宿の開業に向けた取組の支援等、宿泊機能の強化 等

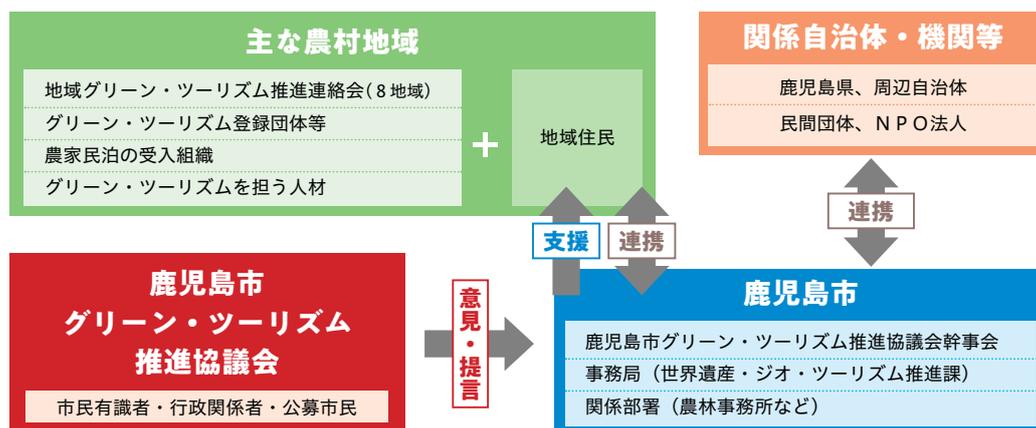
8 郡山地域

- ・八重の棚田など、豊かな地域資源を生かした体験・交流メニューの充実や新たなメニューづくりに向けた取組の促進
- ・八重の里の交流拠点としての有効活用及び魅力向上
- ・農家民泊受入体制の充実や農家民宿の開業に向けた取組の支援等、宿泊機能の強化 等

第5章 グリーン・ツーリズムの推進に向けて

● 推進体制

次の推進体制のとおり、市、関係団体、農村地域の住民など本市のグリーン・ツーリズムに関わる人々は、地域の特性を生かしたグリーン・ツーリズムに協働して取り組みます。また、市（世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課）が計画の進行管理を行います。





第3期 鹿児島市 グリーン・ツーリズム推進計画(概要版)

発行年月/令和4年5月(令和4年3月策定)

編集・発行/鹿児島市 観光交流局 観光交流部 世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課

〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号

TEL 099-216-1371(直通)

メールアドレス sekai-geo-tourism@city.kagoshima.lg.jp

かごしま市のグリーン・ツーリズムホームページ

<http://kago-greent.jp/>